

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 第90回 全日本男子ホッケー選手権大会

試合番号 13 備考 準決勝 年 平成 28 月 12 日 23 時間 11:00 場所 立命館ホリーズスタジアム ピッチ 人工芝(W)

チーム名	試合	1 - 0	チーム名
天理大学	前半	1Q 0 - 0	福井クラブ
		2Q 1 - 0	
	後半	3Q 0 - 0	
		4Q 0 - 0	

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	✓	1 GK	吉川 貴史			
2	✓	2	山田 翔太			
3	✓	3	稲山 巧			
4	✓	4	新井 稜			
5	✓	5	中村 新樹			
6		25	糸原 信行			
7	✓	7	田中 海渡			
8	✓	8	和久利 裕貴			
9	✓	9 C	山水 翼瑠			
10	✓	10	福田 健太郎			
11	✓	12	金藤 直人			
12		5	山口 滉大			
13		7	石橋 諒			
14	✓	17	今松 一貴			
15		18 GK	松田 啓太			
16		6	落合 晴輝			
17		10	瀧上 諒大			
18		16	石原 大誠			

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1		6	馬谷 圭介			
2	✓	2	為国 壮			
3		16	川端 雅旭			
4	✓	7	渡辺 修一			
5	✓	8	佐藤 弘樹			
6	✓	10	三谷 元騎			
7		6	内藤 寛公			
8	✓	12	橋 敏郎			
9		37	小林 宏至			
10	✓	14 C	野村 啓介			
11	✓	15	田中 智大			
12		11	竹内 伸治			
13	✓	17	松田 崇史			
14		18	小林 佑次			
15	✓	21	松山 洋輔			
16		5	三谷 力哉		22	
17	✓	24 GK	松島 孝治			
18	✓	25	斉藤 尚史			

時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種
17	8	FG															

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順番	守備者	先・後	SO戦	先・後	守備者	順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
										No.						No.										
										O/X						O/X										

5	4	3	2	1	SO戦	6	5	4	3	2	1	チャレンジ権	1	2	3	4	5	6	SO戦	1	2	3	4	5	
												O/X		X											

監督	穴井 善博	穴井 善博
アンパイア	藤原 信幸	藤原 信幸
Rアンパイア	高橋 英行	高橋 英行
ジャッジ	一谷 寛	一谷 寛
ジャッジ	杉浦 利哉	杉浦 利哉
ジャッジ	古瀬 充奈	古瀬 充奈

監督	為国 壮	為国 壮
アンパイア	成田 健一	成田 健一
Sアンパイア	野澤 達	野澤 達
Sアンパイア	松原 久	松原 久
TO	平尾 豊	平尾 豊
特記事項	福井クラブ抗議又提出	

【各試合の結果・詳細】

ホッケー日本リーグ機構

第1試合

$$\text{天理大学 } 1 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 福井クラブ}$$

勝点 0

勝点 0

勝 分 敗

勝 分 敗

<p>得点</p>	<p>天理大学→17分 #8和久利</p>		
<p>戦評</p>	<p>天理大学対福井クラブの試合が福井クラブのセンターパスによって開始された。双方サイドから慎重に攻め、相手の隙を窺う。天理大学のDF陣はボールを回し、打ち込む機会を待つが、福井クラブの厳しいプレスがそれを防ぐ。お互い頻繁に選手を交代させ、相手に的を絞らせない。25ヤードを切ってからの守備はどちらも非常に堅く、サークル侵入が何度かあったもののPCやシュートには至らず、第1クォーターは終了した。第2クォーター開始2分、天理大学がパスワークにてサークル内に侵入し、放ったボールがゴールに入った。これに対し福井クラブはチャレンジを施行。チャレンジは失敗し、第2クォーター3分、天理大学が先制点を取る。第2クォーター7分、福井クラブ22番にグリーンカードが出される。この隙に攻め入ろうとする天理大学だが、福井クラブはより一層守備を堅め、サークル侵入を阻止する。福井クラブはサイドラインを巧みに使い、ドリブルと縦パスで相手陣地を目指す。第2クォーター残り2分を切ったところで、福井クラブがPCを取得。しかし得点には至らなかった。前半戦は1-0で天理大学がリードしたまま終了した。第3クォーターは天理大学のセンターパスにより開始された。前半は攻守の時間が同じくらいだったが、第3クォーターはやや福井クラブの攻めが多くなる。打ち込まれたパスを11番がシュートするが、天理のGK1番がこれをセーブする。攻め返す天理大学は素早い展開でサークル侵入し、シュートを打つ。PCを取得したが、パスミスによりシュートに至らなかった。最終クォーター、1点を追う福井クラブは焦ることなく丁寧にボールを回し、攻め入るチャンスを作ろうとする。残り4分を切ったところで、福井クラブのシュートに天理大学のGKが反応するも、ゴールから離れてしまう。がら空きになったゴールにリバウンドシュートを打つ福井クラブだが、これを天理大学2番が止めてみせる。その後も天理大学は何度も攻め込まれたが、すべて防ぎきり、1-0で天理大学が勝利した。</p>		
<p>TO ジャッジ</p>	<p>平尾 豊 一谷、杉浦、古瀬</p>	<p>アンパイア</p>	<p>藤原 信幸 成田 健一</p>